

全力を出さない人間は、
夢を諦めることさえできない。

有川 浩（作家）

□さあ、体育祭だ。

中間考査が終わり、どこの団も応援団の練習で頑張る姿が毎日見られます。最高学年となって迎えた大事な行事です。悔いなく、6月8日の体育祭本番を迎えられるよう、それぞれがやるべきことをやりきってください。

□二兎を追う者は…？

「二兎を追う者は一兎をも得ず」という言葉があります。辞書を引くと「同時に違った二つのことをしようとする、結局は失敗してしまうということ」とあります。しかし、この時期の高校3年生は「二兎」も「三兎」も追いかける必要があります。

□中間考査の流れを断ち切らない

中間考査の答案がどんどん返ってきている時期です。何点とったか、ということも当然大事なことですが、間違えたところの確認を怠らないようにしてください。特に大学入試を考えている人は、この時期をいかに過ごすかがとても重要です。体育祭に向けての取り組み、自分自身の勉強、どちらも大切です。そのためには、「集中」と「切り替え」が何より求められます。応援団の練習は集中して、でも家に帰れば切り替えて勉強する。たとえ、10分でも教材や問題集を広げてみる。やれる範囲で頑張ってみる。その習慣が、やるとやらないで先々で大きな違いを生むこととなります。ここで勉強の習慣を途切れさせてしまうと、そのロスを取り戻すのに倍以上の時間がかかるものです。体育祭も、進路も、どちらも大切です。両方ともに、満足のいく結果を勝ち取ってください。

□6月1日より

6月1日より、一部の専門学校でAO入試のエントリーが始まります。ここでエン

トリーして合格の権利を勝ち得たら、8月1日以降に出願することで、その専門学校への入学が決まります（出願の日程等は、学校によって異なる場合があります）。しかし、ここでじっくりと考えてください。自分はどのような仕事に就きたいのか？何が勉強したいのか？自分の希望を叶えるのは、本当にその学校なのか？例えば、航空関係やブライダル関係など、正規の就職が非常に厳しい業種もあります。もちろんやりがいのある仕事に就けるケースも多くあります（航空業界を目指して入学し、海外の日本旅館に就職が決まったという例もあります）。将来の仕事を考える上で、今の時期であれば、一度あこがれの会社のホームページを見てみるのもよいと思います。新卒の大学生などに向けた採用のページを開設しています。そのような採用情報のページで、どのような人が就職しているのかが確認できます。また、そこに掲載されている募集要項ではどのような人を対象としているのかがわかります。その上で、自分がどうしたいのかを考えてみることも大切なことです（よくわからなければ、進路指導部の先生と相談してください）。

□専門学校進学は、強い決意を持って

理美容や医療系など、技術を身につけるためには専門学校でなければという分野もあります。専門学校の募集要項を見ると、多くの学校が来年の年明けまで募集しています。学校説明会や進学相談会も随時実施している学校も決して少なくありません。多くの大学や短大でもそうですが、定員に満たない学校が多く存在しています。早期に出願すると、受験料など優遇される場所もありますが、自分の一生の問題です。「早く決めたい」「受験料がかからず得だ」といった安易な理由で学校選択してはいけません。学校で実施されている個別相談会で話を聞く。いろいろな学校のオープンキャンパスに行ってみる。比較のために大学のオープンキャンパスにも行ってみる。専門学校への進学は、何より強い決意を持って進学してほしいと思います。夏休みなどを利用して、じっくり考えることが必要なのではないかと思います。

□全力を出さない人間は、夢を諦めることさえできない。

体育祭に向けて、自分の進路に向けて、全力で取り組まなければならないのは「今」です。出し惜しみせず、やるべきことに全力で取り組んでください。

学年目標：進路に向けて力をつくし、未来を切り拓く